



いずみ野

令和3年4月30日

校長 齋藤 敦子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友だちが好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

子どもたちの声と 風薫る清々しい5月

校長 齋藤 敦子

新年度が始まって1か月が過ぎようとしています。いずみ野のまちにはツツジやフジが咲き、清々しい季節となりました。子どもたちは落ち着いて学習や活動に臨んでいます。今年度のスタートは毎日子どもたちの声が響き、6年生をリーダーとして活気に溢れています。いずみ野の子は一人ひとりの挨拶も言動も、前向きな気持ちが広がっていると感じています。

4月21日(水)には「1年生を迎える会」が行われました。上学年の温かい拍手と喜びの中、57名がいずみ野小学校の仲間入りをしました。1年生は6年生と一緒に入場するのですが、コロナ禍のため、接触を避け1年生の隣に寄り添いながらの入場で、6年生の優しい眼差しが印象的でした。各学年から、歓迎の言葉、クイズ、プレゼントもあり、少し緊張気味の1年生の心もほぐれ、「楽しかった」「うれしかった」と笑顔を見せてくれました。この日から、避難訓練や朝会は1年生もしっかりと参加しました。



6年生と一緒に入場する1年生

さて、今年度は子どもたちの声が毎日聞こえています。この当たり前の光景が尊く、嬉しく…こうして学習、給食、委員会活動、生産活動、発育測定等の活動が順調に進んでいます。



昇降口は学校の玄関
「くつがそろそろ心もそろそろ」

校内を回ると昇降口の靴箱の整頓、教室、階段や廊下、トイレ等の清掃も隅々まで行き届き、子どもたちは感染防止に努めながら教職員とともにがんばっています。放送委員会では、帰りの放送で「最初はグー、じゃんけんぽん！」で終わります。子どもも大人も思わず手を止め、笑顔で参加しています。「また明日も元気に会いましょう」という子どもたちの願いと主体的な活動の表れです。

また、地域学校協働活動MSI (Multi Support IZUMINO) の皆様方には、5名の地域コーディネーターの皆様を校に、早々にサポートに入ってください、子どもたちの支援をありがとうございます。学援隊の皆様には、子どもたちの登下校時に、声を掛け、安全を見守っていただいているところです。保護者の皆様も校外で黄色のベストを着用している学援隊の方を見かけたときは、子どもたちとともに進んで声かけをお願いいたします。多くの方々がいずみ野小学校を愛し、ともに子どもたちを育て、応援して下さる思いに心より感謝申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、授業参観、懇談会に熱心にご出席いただきありがとうございました。各学年PTA実行委員の皆様、本部役員の皆様、子どもたちの健全育成のために実りある活動となるようにご協力をお願いいたします。学校は保護者、地域の皆様との連携を深め、「子どもたちを第一に 笑顔あふれる学校」に努めてまいります。5月はGWを迎え、コロナも気になるところですが、お子さんとゆっくり話せる時間がとれますよう願っております。今後とも、よろしくお願い申し上げます。